

砺波市ふるさと文化財 登録リスト

平成23年1月26日登録
平成29年7月31日追加
令和5年4月6日削除

番号	種 別	地 区	名 称	員数	備 考
1	建造物	油田	若鶴大正蔵	1	酒蔵。大正11年に完成。木造トラス構造。
2		油田	十村安藤家の多門	1	御扶持人十村安藤家の多門。
3		太田	太田橋	1	昭和13年建造のコンクリート橋。近代化遺産。
4		太田	専念寺本堂	1	藤井助之丞最後の作。設計図が残る。
5		般若	安川野武士の太子堂	1	明治の宮大工藤井助之丞作。明治26年築。設計図が残る。太子像も台座に銘があり貴重。太子講も創建当時から継続されている。
6		東山見	木村産業㈱事務所	1	昭和8年築。先駆的な鉄筋コンクリートの店舗。住宅も3階建てで、欄間は当時の井波彫刻の代表格の人の作。土蔵は漆喰彫刻の第一人者竹内源造の作と云われている。
7	彫 刻	庄下	聖徳太子孝養像	1	木造、彫眼で室町時代の作。
8		五鹿屋	荒高屋恵比須社	2	明治24年建立。恵比須、大黒石仏各1体。開拓と民間信仰の資料。
9		若林	狐島の太子像	1	森川栄次郎作の太子像。
10		青島・中野・太田	中筋往来の石仏群	1	江戸時代末期に造立された西国三十三ヶ所観音や多くの石仏群がある。
11		林	東中の六地藏	1	文化元年(1804)に遷仏を行い、以来地域の人々で維持されている。
12		南般若	秋南の十一面観音石仏	1	銘文に「明治十八年九月建之 願主當所若連中 石工森川栄次郎」とあり、若連中が石仏を建立したことがわかる。
13		太田	地藏半跏像	1	この地方を代表する中世の地藏半跏像の石仏。
14		梅檀野	千光寺道標石塔	1	延享元年(1787)。石工井波善太郎。千光寺57世性海の銘がある。
15		梅檀山	東別所上村の不動明王石仏	1	交通の要所。地域のシンボル。
16		梅檀山	井栗谷峠の不動明王石仏	1	「明治二十七年 石献納大沢又次 森川栄次郎作」の銘がある。
17		東山見	庄川大仏	1	昭和7年に完成。昭和5年に小牧ダム・昭和17年合ロダム完成。コンクリート造で、コンクリートの町庄川を代表する文化遺産。
18		東山見	山田文作像	1	昭和7年、小杉町の壁職人竹内源造作。モルタル製少年兵像。遺存も良好である。
19	考古資料	東野尻	苗加板碑	板碑2 石仏2	康暦二年(1380年)、南北朝期の年号が入る。
20		南般若	法泉寺塔	1	鎌倉末期から南北朝期にかけての造立。月輪に薬研彫りの梵字「バン」を彫り込む。
21	歴史資料	南般若	舞句資料	1	句碑、句集、奉納額。
22		鷹栖	大矢四郎兵衛銅像	1	中越鉄道の創始者。
23		東山見	金屋石石管 附. 石工道具	8本 50点	辰巳用水・十二貫野用水で使用されていた石管と、庄川町の旧家で保管されていた石管。採掘で実際に使われていた石工道具。
24	無形民俗文化財	庄下・林	ヨータカ	1	各戸を巡回するもとの形を遺している。
25		太田	左義長	1	この地方の代表的小正月の年中行事。
26	伝承地	梅檀野	伝長尾為景塚	1	和田川導水路縁。長尾為景が討死した所との伝説がある。ただし、為景は越後春日山城で病死。
27		東般若	浅草観音発祥伝承地	1	浅草寺の観音発祥の地と伝承され、昭和初年から観音祭りが行われている。
28	史 跡	出町	上水道記念碑	2	北陸三県で最も早く敷設された。
29		鷹栖	小倉の土居	1	小倉孫左衛門が天正年間に居住したと伝わる屋敷跡。土塁の痕跡が残る。
30		林	午飯岡碑	1	義仲伝説が記されている。
31		林	石崎謙碑	1	富山県分県運動の先駆者。
32		高波	地藏開和	1	地域の和を大事にしていこうということで、この地藏は「地藏開和」と呼ばれている。
33		柳瀬	準のなわ塚碑	1	文化十一年(1814)の検地引高を喜び、検地に使った縄を埋めて塚とした。ちなみに加賀藩では、正式の検地引高としては最後の例である。
34		柳瀬	佐藤翁碑	1	佐藤工業の創始者佐藤助九郎氏の顕彰碑。石材は岩手県釜石産、題額は太田尊由、撰文は島地黙雷、書は日下部鳴鶴と、当時活躍した人々によって建碑されている。

砺波市ふるさと文化財 登録リスト

平成23年1月26日登録
平成29年7月31日追加
令和5年4月6日削除

35	史 跡	太田	太田金比羅社の文学碑	1	境内には前田普羅句碑、日下部鳴鶴の揮毫碑。太田金比羅社旧相撲場には、文化年中の芭蕉句碑・雪幸句碑、隣三光庵には迎貨句碑。
36		般若	親王塚	1	宝篋印塔。般若野荘の領主徳大寺実道の塚とされる。
37		般若	公卿塚(九人塚)	1	五輪塔の群集墳。徳大寺実道の従者の墓とされる。
38		般若	巡検使道	1	庄川右岸の旧道。江戸幕府の巡検使のルート。
39		般若	福山窯跡	1	8世紀後半に須恵器を焼成した全長12mの窯。昭和37年に発掘。出土品は市文化財。
40		東般若	宮森廃寺跡	1	15世紀前後の密教法具が発見された。真言宗集福寺の跡。
41		東般若	館の土居跡	1	中世般若野荘内にあった中世城館。
42		東般若	東保高池遺跡	1	中世前期の土師器皿が大量に出土。
43		梅檀野	上和田・池原サイフォン	1	和田川左岸からの引水施設。昭和13年着工、昭和15年完成。竹山得雄施工。
44		梅檀野	厳照寺遺跡	1	芹谷野段丘西縁にある縄文時代中期前葉の代表的集落跡。
45		梅檀山	安川城	1	別称・鬼ヶ城。般若野荘の荘官黒田太左衛門尉が悪党を従えて籠城したと伝えられる。
46		東山見	御上様塚	1	壇城主神保安芸守の室とも、この地に住んだ近藤大和の室とも伝える人の髪塚。堂内に森川栄次郎作の十一面観音の石仏(明治17年)がある。
47		東山見	金屋石採掘跡	1	幕末期から昭和30年ごろまで採掘された。
48		青島	青島の一本橋	1	庄川町の中心で、二万石用水に掛かる橋。欄干には竹内源造の手によるライオン像があった(現庄川支所にある)。また豪華な地藏堂もあり、「文化十四年」(1817)の銘のある地藏坐像が安置されている。
49		雄神	千代ヶ様城	1	南北朝の争乱期に桃井氏が居城。壇城の詰城と考えられる。
50		雄神	宗半塚	1	増山城最後の城主、中川宗半の塚。恩光寺(現南砺市福野)の寺跡にある。
51	天然記念物	出町	西の大ケヤキ	1	出町・砺波市街地を知り尽くした唯一の生き証人。象徴木。
52		梅檀野	正権寺五社能社の大杉	1	ご神木とされる。
53		種田	大嶋家の大杉	1	樹齢約500年。扇頂部で庄川の氾濫域をぐり抜けてきたスギの古木。
54		五鹿屋	五鹿屋のイロハカエデ	1	現農村公園広場の真ん中にただ一本立つ姿は格別で、五鹿屋地区民のシンボルとなっている。